

「関西ブロック安全大会2022」開催

“「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」ヨシ！”

—NTTグループと通信建設会社による合同開催—

情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

2022年10月13日、「関西ブロック安全大会2022」が関西エリアのNTTグループ5社、通信建設会社4社、ITEA関西支部の合同により開催されました。

今年度も昨年と同様、WEB会議や動画配信サービスを活用したリモート形式での開催となりました。

「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」のNTTグループ統一スローガンのもと、関西ブロックでは作業中の事故ゼロを目指し取り組んでいます。

しかしながらNTT西日本グループでは、今年度上期は昨年度を上回る人身事故が発生するなど危機的な状況にあります。

ブロック安全大会は、毎日仕事をこなしていく中で、安全意識の低下は慣れから発生することが多く、そうした時に事故は起こりやすいことから、現場にはどのような危険があるのかを認識し確認し、事故を繰り返さないことを目的に例年開催されています。

開会式

開会にあたり、NTT西日本 関西支店 小川支店長（写真1）から、『今年度のNTTグループ統一安全スローガンである「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」のもと事業運営をしておりますが、残念ながら今年度も関西6府県管内で3件の人身事故が発生いたしました。

西日本エリアにおきましても今年度すでに14件の人身事故が発生しており、昨年度の人身事故が年間トータ

ル15件であったことと比べますと大変深刻な状況となっております。

事故の内容としては、危険な状況であったが立ち止まらずに作業を継続したこと、危険な状態を危険と感じず作業を実施したことなど安全意識の低下が主な要因となっています。

今一度、基本動作、基本ルールの徹底を図るとともに、本日発表していただきます各社の安全の取組みをお互いに横展開することによって関西エリア全体で事故ゼロを推進していきましょう。

また、本日の安全講話といたしまして、講師の夏川様から安全を実現する職場の空気とコミュニケーションについてお話をいただきます。実践を交えたお話を伺えるということですので、安全な職場づくりに取り入れていただければと思います。

昨年のあいさつでも申しましたが、労働安全の基本は「1人ひとりかけがえのない人」という人間尊重の考え方です。



写真1 開会挨拶 NTT西日本 小川関西支店長

「朝元気に職場に行って、夕方また元気に帰ってくる。」
そういった当たり前のことを繰り返すためにも「自分の命は自分が守る、仲間の命も自分が守る」という強い思いで安全最優先での作業をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、みなさまのご健康と職場の安全のさらなる推進を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。』とのご挨拶がありました。

続いて、ITEA関西支部 遠竹支部長（写真2）より、『世の中にある事故の中には重大事故1件の中に29件の軽い事故があり、またその下にヒヤリハットが300件あると言われています。

みなさんいろいろな安全活動の中で、「過去に起こった事例からそれを学び対策を考えそれを現場の人にきちんと周知して徹底していく」そんなことを日々繰り返されていると思います。

しかしながら、それでもなお事故はまだ撲滅できていません。

先ほどご紹介ありましたように西日本でも今年度14件の人身事故が起こっています。その中でも重傷、もしくは死亡事故といわれるものがすでに今年度4件（死亡事故1件、重傷事故3件）起こっています。

「本当にこの重大な事故を起こさない。もし起こったとしても軽い事故で終わらせる、軽い事故ですら起こさない」

その取組みを皆さんと一緒にこれからもしてまいりたいと思っていますが、今日この安全大会はそれをみんなで考える節目のタイミングだと思います。「毎朝元気に出勤し元気に帰ってくる、その日々を繰り返す」そういう事の大事さをみんなと一緒に培っていかないといけないだろうと思います。

我々通信建設業界は、大きな作業現場で何日も何カ月も同じ現場で作業しているのではなく、1日で3件もし

くは4件の作業現場に行くことが多いと思います。

その現場1つひとつが全く同じ現場はなく、注意するポイントもいろいろ変わってきます。

そんな中で1つひとつ意識を高めながら、「そこで起こるであろう危険を予知して、それに対してしっかり対策をたて行動する」これを繰り返す事が大事なんだろうと思います。

過去の事例、ヒヤリハットの情報を今日参加いただいたみなさんを含め現場の方々にも徹底をして、安全がすべてに勝り、最優先の事項でございます。不安だったら立ち止まる、そんなことも必要なんだろうと思います。いろいろな事故が起こっていますが、それを他人事と考えず自分のこととして考えて対応いただくことが大事なんだろうと思います。

そういった意味でもこの安全大会を毎年やらせていただいているのですが、今年もリモートでの開催となりました。

リモートのいいところはいっぱいあると思います。「リアルで見られなかった、ホントに現場に近かった人にも参加していただける。あるいはデジタルで後日でも見られるような環境づくりができる」等、いいところも一杯あります。

一方、今までやってきた危険体感研修といったリアルに感じてもらう部分はなかなかリモートだけでは伝える事ができない所があるんだと思います。

そういった意味でも安全大会のあり方も毎年毎年工夫し、やり方を考えていただいているのですが、仕事のやり方も変わってきているので「何をだれに訴求するためにこの安全大会をやっていくのか」を考えながら来年の大会に向けて一緒に勉強して行きたいと思っています。

ぜひ、この大会に参加していただいている皆さんには、アンケートに来年は「こうしてほしい」、「こうなったらいいんじゃないか」みたいなことをお伝えいただきたいと思っていますので、ぜひよろしくお願いいたします。

最後になりますが、関西ブロック安全大会に参加する皆さんとホントに一緒になって、この関西から、そして西日本のエリアで、不幸な事故を発生させないようにしていきましょう。それを誓い合って今日の安全大会を開催したいと思います。よろしくお願いいたします。ありがとうございます。ご安全に』とのご挨拶がありました。

引続きNTTグループ、通建会社代表者の2名（写真3）による安全宣言があり、安全大会が開始されました。



写真2 開会挨拶 ITEA 遠竹関西支部長



写真3 安全宣言

NTTアノードエナジー株式会社 本並 侑樹 (右)
 エクシオグループ株式会社 鶴賀谷 駿介 (左)

大会の実施内容

今大会では、各社で取り組む安全施策を募集し、代表4社がオンライン開催当日（10/13）に紹介し、各社施策もポータルサイトに掲載するなど各社の取組み事項の共有を図りました。また、夏川立也講師による「安全を実現する職場の空気とコミュニケーション」をテーマに現場の安全には雰囲気づくりが大切なことを実践を通じ講話いただくなど、表1の内容で実施しました（表2-1、表2-2は、実施内容の詳細）。

閉会式

閉会にあたり、NTTインフラネット 関西事業部 是國事業部長（写真4）から『今年度もコロナの影響がありまして関西ブロック安全大会2022においては、オンラインによるリモートでの開催という形になりました。カメラの向こうでたくさんの方々が見られている事と思います。都合で今回参加できなかった方もいらっしゃると思うので、今回参加された方は専用ポータルサイトでぜひ見ていただけるよう一声かけていただければと考えています。

コミュニケーション、空気感、良い当たり前を作る、非常にいいお話を夏川先生から聞けたと思いますのでぜひ見ていただきたいと感じます。

2022年度上期も終わりましたが、インフラネットで見えておきますとNTTグループで、この上期に32件の人身事故が発生しました。そのうち15件は重傷事故で残念ながら1件死亡事故が静岡の方で発生しました。

関西ブロックも8月以降、マンホールの閉開時の事故、マンホール入坑時の転落事故、中国の伐採事故で3件が8月以降連続して起こっている状況です。

それぞれの会社でこの連鎖を断ち切るためにいろいろな施策を打たれていると思いますが、今回のこの安全大会を通じて、今日以降ゼロ災を続けるよう、意識を合わ

表1 実施内容

+ 関西ブロック安全大会2022 ポータルサイト	
	<開会式>
	<安全施策紹介> 『事故防止に向けた「危険体感」「自分事化」の取り組み』 NTTフィールドテクノ 滋賀設備部 『安全の取組み事例紹介』 NTTファシリティーズ/NTTアノードエナジー 『安全の日/NWカメラによる安全(直営作業)の見守り』 NTTインフラネット 関西事業部 『「みまもりメール」配信の取り組み -類似事故を繰り返さないための安全対策-』 ミライト・ワン
	<特別講演> 安全を実現する職場の空気とコミュニケーション 講師:夏川 立也
	<閉会式>
[WEB視聴]	<安全関連ツール紹介> (通信建設会社:5社・ツール提供会社:21社) 関連会社等の安全に関するツール等をサイト上で紹介
[WEB視聴]	<安全施策紹介> 各社で取り組む安全施策をWEB上で紹介
[WEB視聴]	<危険体感映像> 高所作業車逸走、チェーンソーキックバック

表2-1 実施内容の詳細（安全施策紹介）

安全施策紹介

NTTフィールドテクノ 滋賀設備部

【テーマ】事故防止に向けた「危険体感」「自分事化」の取り組み

【紹介内容】
道路横断作業等において、専門交通誘導員と作業者の息の合った連携が必要になるため、現場での交通誘導員への適切な指示・意識合わせができるようにFSC社員へ交通誘導に関する知識・スキルの習得研修を実施。

NTTファシリティーズ・NTTアノードエナジー

【テーマ】安全の取り組み事例紹介

【紹介内容】
【事例1】事故再発防止に向けた取り組み
・基本ルールの再徹底
・作業実施責任者の関与強化
・Teamsを活用したりモート安全パトロール
【事例2】安全取組みの見える化
・HPへ安全に関するコンテンツを紹介
(事故概要一覧表、車両後退時におけるルール制定安全講話の開催)

NTTインフラネット 関西事業部

【テーマ】安全の日・NWカメラによる安全（直営作業）の見守り

【紹介内容】
当社の安全衛生活動では、社員の健康と安全文化・安全風土の醸成を土台とした、3つの取り組み(関西事業部一体となった取り組み、関係各社一体となった取り組み、安全意識・危険感受性の高揚と取組み)を推進・継続しています。今回は、これらのうち、2つの施策についてご紹介いたします。

ミライト・ワン

**【テーマ】みまもりメール配信の取り組み
~類似事故を繰り返さないための安全対策~**

【紹介内容】
日々の朝礼時や安全パトロールにより、事故情報の認知状況や再発防止策の実施確認などの各種啓発活動による再発防止に取り組んでいる。しかし、業務の繁忙、うっかり、慣れなどから、類似事故の撲滅には到っていない状況もあり、事故を風化させず先人の教訓を活かすための一つの方法として、定期的に各施工者のスマホ等に注意喚起する施策等を配信している。

下記施策はポータルサイトに掲載され共有されました。

会社名	紹介施策
FT 大阪設備部	交通誘導員も参加したKYT活動の実施、ドライブドクターの導入
FT 京都設備部	交通安全に関する「京都オリジナルルール」の徹底
FT 兵庫設備部	交通ハザード情報の見える化とドラレコ映像を活用した運転診断
FT 奈良設備部	安全講話の実施、ドライブドクター施策、朝礼の際の唱和
FT 和歌山設備部	バケツ実践的安全研修の開催、出船駐車徹底
エクシオグループ	車両運行管理業務の効率化への取り組み
日本電通	NWカメラの拡張利用
日本コムシス	効果的・効率的安全パトロールへの取組

表2-2 実施内容の詳細 (特別講演、安全関連ツール紹介)

「安全を実現する職場の空気とコミュニケーション」



コミュニケーション・プロデューサー
夏川 立也



【特別講話の内容】

- ◆ プラスの感情の変化の重要性と
コミュニケーションの土台
 - ・なぜ笑いはビジネスシーンでも有効なのか
 - ・コミュニケーションの土台と、スキル
 - ・芸人さんの仕事は笑わせることではない?
- ◆ 無意識を味方につける!
 - ・結果を変えるための最短距離
 - ・無意識が、取組みにブレーキをかけない心づくり
- ◆ 感情が空気を生み出す!
 - 行動→感情→空気→感情→行動のスパイラル
 - ・空気って、何から出来ている?
 - ・行動と感情と空気の関係
 - ・臨界点を知って、階段を上らせよう!
 - ・協力関係を生み出す、人のつながり
- ◆ 芸人から学ぶ、空気づくりの方程式
 - ・空気次第で、モチベーションが変わる!結果が変わる!
 - ・実際に空気を作ってみよう!
 - ・テレビ番組の前説から学んだこと【取り扱い注意】
- ◆ 3週間の継続とアジャストの繰り返し
 - ・ハードルは低く
 - ・気づく→フィードバック→共有
 - ・三大原則【取り扱い注意】
- ◆ 安全を実現するコミュニケーション環境を作る!
 - ・5つのS・発信の両面性
 - ・ビッグマリオン効果を活用する
 - ・ポジティブ発信、ポジティブ変換(あえての逆意識)
 - ・安全を実現するためのミッション

特別講演

安全関連ツール紹介

	出展企業名	安全関連ツール
1	(株)アイチコーポレーション	穴掘建柱車カタログ、高所作業車カタログ
2	(株)タダノ	通信工専用高所作業車、カーゴクレーン
3	NTTレンタル・エンジニアリング(株)	どこでも”me”REC、REC's GAJUMARU
4	大東電材(株)	低圧手袋、プリント養生テープ、高輝度蓄光蛍光テープ エルクライトレモン、高低圧検電器(照明付伸縮式)、熱中症予防商品Me-mamo
5	藤井電工(株)	キーロック対応ハーネスカタログ、キーロック対応ハーネスの装着方法(TH-568KOT-OT)
6	日本コンクリート工業(株)	コンクリートポール、8.0-4細径コンクリートポール
7	ヨツギ(株)	SSケーブルキンシチョウTYPE-II、鳥封じSLIM、アイビーガードオートロック、アイビーガードSLIM、アイビーガード カラーマネット
8	マサル工業(株)	自在バンド用保護カバー、接地マット
9	(株)電電広告	ウォールウォッチャー、カラーコーン用立体表示カバー
10	住電オプコム(株)	外被把持型波長選択ターミネーション、オプクリーン100
11	中央労働災害防止協会	中災防 近畿センター 研修のご案内、労働衛生のしおり(令和4年度版)
12	通信土木コンサルタント(株)	埋設管路・ケーブルの防護 セラミック防護板「チタンガード」、橋梁点検システム「ドローンによる橋梁設備点検」
13	住友電気工業(株)	小型融着機 TYPE-201+シリーズ、多心光ファイバ融着接続機 TYPE72Mシリーズ、ホットジャケットリム-バ JR-6+、ハンディ光ファイバカッター FC-8Rシリーズ、高性能型光キャプチャ装置
14	日本カーソリューションズ(株)	NCSドライブドクター
15	東名通信工業(株)	安全フック状態確認ツール、ナビゲーションアラート
16	NTTインフラネット(株)	防災ソリューション
17	(株)ナカオ	トド丸(フルハーネス対応安全器)、作業台 コンスタワー
18	(株)ジー・システム	脚立用転倒防止装置セーフティライダー、はしご用転倒防止装置セーフティライダーHS
19	アイレック技建(株)	残置ケーブル撤去技術、マンホール止水蓋、非破壊探査、iエスパー・R、ロードエスパー3D
20	ITEA関西支部 土木部会	交通誘導員の機械化(ロボットガードマン)
21	(株)ミライト・ワン	バケット車逸走防止対策、ドロップリールの長寿命化、引留柱用絶縁カバー、TMライニング工法用特殊ホース、ストランドアース延長工法
22	エクシオグループ(株)	可搬型汎用電源出力システム「エネコンボ」、テープライト LED保安柵、『くるりん波2』~パラベット吊り下げ式アンテナ架台~、HH鉄蓋開け工具、無線型光作業確認ツール
23	日本コムシス(株)	地中化切替用BOX、ハンドホール転落防止仮蓋
24	日本電通(株)	水中ポンプ・排水ホース巻き取り器
25	新コスモス電機(株)	マルチ型ガス検知器 XP-302M、複合型ガス検知器 XP-3000 II
26	住友電工エオプティフロンティア(株)	光通信用工具、鳥害対策品

各会場の模様(2022年10月13日)



せることができたと感じております。ぜひ、皆様においても「ゼロ災継続」をこだわっていただければと感じております。

冒頭小川支店長からもありましたが、NTTグループ統一スローガンは「私たちは過去の事故を教訓に、類似事故を絶対に起こさない」ということで取り組んでいます。

インフラネットの事例紹介でご説明申し上げましたが、我が関西事業部も「関西安全の日」ということで、過去に起こった飛び込まれ事故、橋梁添架点検時の転落事故、マンホール構築時のマンホールベース転落事故、とう道の垂直梯子を登った時に落下してしまう転落事故の4つをホントに忘れない、風化させないということで発生した日に現場状況を思い出し、KYTによる危険予知活動により風化させないように努力をしております。このような事を繰り返し行う事、当たり前に行っている事、本当に大切だと思っており、このような事を積み重ねながら安全に対するしっかりした組織風土を作っていくと考えております。今回お集まりの皆さんもぜひ、それぞれの職場で取り組んでいただきたいと思います。

最後になりましたが、この大会を最初から準備された方々、ご尽力いただいた方々に感謝を申し上げるとともに、これから年度末に向けて工事件数も多くなると考えられます。NTTグループ社員並びに通信建設会社社員の皆様、1人ひとり安全はホントに自分のことだととらえていただき、関西ブロックからは絶対に事故を出さないという強い意志でこの下期乗り切っていきたいと思っておりますのでぜひみなさんご協力よろしくお願いします。最後になりますが閉会の挨拶にしたいと思います。ご安全に。』との閉会挨拶があり、全員で安全スローガンの唱和(写真5)を行いました。

おわりに

今回の大会を契機として、「人身事故」「設備事故」が防止され、NTT様はもとより、お客様に対して「きっちり工事」が届けられる通信建設業界を目指すことを誓い合い閉会しました。

本大会に大変お忙しい中ご参加いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

